

理数科模擬講義

平成30年8月17日（金）

講師 東北大学 電気通信研究所 准教授 栗木 一郎 先生

演題 「脳」について語ってみよう！！

～視覚から脳機能へのアプローチ～



8月17日(金)、東北大学より、栗木一郎准教授をお招きして、2年理数科を対象に「東北大模擬講義」を実施しました。

栗木一郎先生は、我々が普段見ている視野がどのような情報処理によって得られているのかを、視覚情報処理の大半が行われている脳に着目して研究しています。この模擬講義では、「脳」についてわかりやすく、丁寧に語っていただきました。

特に、視覚の生じるメカニズムや、脳波を検知して動く車いすに興味を持った生徒が多かったようです。科学への探究心を触発され、かつ今後の進路へのモチベーションとなる、とても有意義な講義でした。

生徒の感想より

- *私が興味を持ったのは、ブレインマシンインターフェースだ。体の不自由な方をはじめ、多くの人を助ける希望となる技術だと思う。
- *先生の講義では、数学や物理、更には生物で扱った用語も出てきて、授業と専門的な内容が繋がった感じがして感動した。
- *色が三原色で表現されていることは知っていたが、なぜ色を受容できるのか、その原理を知ることができた。
- *今回の講義で「工学」のイメージが変わった。工学に関係するのは物理学という固定観念があったが、今回の講義では生物学や医学の内容も工学と結びつくことが解った。
- *脳を電気情報に関する分野で研究する事への驚きから始まった講義でした。脳の機能の分析を数学的なアプローチで試みていることにとても関心が湧きました。
- *以前ネットで出回った「青いドレス」の謎が解けてスッキリした。
- *医工学の分野にとっても興味を湧いた。脳波を関知して動く車いすやロボットアームなどこれからの医療の可能性を感じた。
- *栗木先生が工学から学問を追究して、脳という別の分野のスペシャリストになられたことにとても驚いた。